

## 2020年度 日本医師会 医学研究奨励賞を受賞

研究題目：「新規眼科手術補助剤開発による  
疾患態理解と治療法開発への挑戦」

眼科・診療部長 久富 智朗

このたび、筑紫医師会所属である当院眼科の久富智朗医師（診療部長）が、「2020年度日本医師会医学研究奨励賞」を受賞しました。

本研究では、眼科の硝子体手術時に網膜面上にある膜組織を効率的に除去するため、新規眼科手術補助剤の開発に取り組みました。今後も硝子体手術を効率化・標準化し、より安全で確実な手術法を開発し、患者さんの治療に役立てたいと思います。



### ▶ 診療日のご案内

	循環器内科	内分泌糖尿病内科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	整形外科	形成外科(午前のみ)	脳神経外科	脳神経内科	皮膚科(午後のみ)	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科
月	○	○	○	○	△	○	○	○	○	※	○	○	○	○
火	○	○	○	○	△	○					○			○
水	○	○	○	○	△	○	○	○				○	○	○
木	○	○	○	○	△	○					○			○
金	○	○	○	○	△	○	○	○				○	○	○

(△専門外来・予約制)

#### 【受付時間】

〈平日〉8:40～11:00

※皮膚科〈月曜〉14:00～(予約制)

#### 【休診日】

土曜日・日曜日・祝日

年末・年始(12月29日～1月3日) お盆(8月15日)

#### 【面会時間】

〈平日・土曜日〉13:00～20:00 〈日曜日・祝日〉11:00～20:00

## セカンドオピニオン外来 のご案内

セカンドオピニオンとは、「患者さんが現在治療されている医療機関での治療や方針について、今後の治療を選択するために他の医療機関の医師に意見を聞く。」というものです。

### 例えば

「手術が必要です。」といわれて、  
「本当に手術以外に治療方法はないのか別の先生に聞いてみたい」

「もう何の治療方法もありません」といわれて、  
「そんなこといわれても…。どうすればいいのかわからない。」

といった場合などのご相談をお受けするものです。

なお、セカンドオピニオンは完全予約制で、事前に申込み手続きが必要です。

セカンドオピニオン外来についての、ご相談、予約申込み等のお問い合わせは、地域医療支援センターまでお願いいたします。

問い合わせ先

福岡大学筑紫病院 地域医療支援センター  
TEL 092-921-1011 (代表) FAX 092-921-0910 (専用)  
受付時間：8時40分～16時40分(月～金)

当院ホームページにも、ご案内を掲載しています。そちらもぜひご覧ください。

### ▶ 交通のご案内



#### JR・西鉄電車ご利用の場合

西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車……………徒歩3分  
JR鹿児島本線「天拝山駅」下車……………徒歩3分

#### 自家用車ご利用の場合

九州自動車道「筑紫野IC」より……………車で5分  
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武蔵交差点より……………車で5分

※時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。

※なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。



# ちくし



### 【基本理念】

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。

その基本は「人間性に立脚した医療」、心の繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

### 【基本方針】

1. 安全、安心な思いやりのある医療の実践
2. 大学病院として、高度先進医療の提供
3. 地域医療支援病院・地域がん診療病院として、情報発信とともに地域医療への貢献
4. 開かれた質の高い多職種協働によるチーム医療の実践
5. 患者の尊厳を尊重し、倫理観を備えた優しい心を持った医療人の育成

## 新年のご挨拶

病院長 柴田 陽三



皆様、新春明けましておめでとうございます。福岡大学筑紫病院長の柴田です。紙面をお借りして新年のご挨拶を申し上げます。

さて、去年は新型コロナウイルスへの対策に終始致しました。今から約1年前の1月6日、厚労省が中国で発生した原因不明の肺炎に対して注意を喚起し、2月には横浜港に入港したクルーズ船で感染者が発生、引き続き全国の小中学校へ休校要請がなされました。第二種感染症指定医療機関である当院は直ちに新型コロナウイルス対策チームを発足させ、病院玄関での一次トリアージの実施、患者さんと職員の入館動線の分離、病棟改変、ウイルス検査体制の構築、職員の防護服着脱訓練などの考え得る限りのあらゆる対策を行って参りました。7月の第二波、11月の第三波と感染者数の増加に強い危機感を持ちましたが、これまで病院機能を全うすることができましたのは、職員のみならず、患者さんとそのご家族、また地域の先生方のご理解ご協力のおかげでございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。現在、国内外で多くの製薬メーカーが新型コロナウイルスのワクチン開発を行っています。有効なワクチンによる集団免疫の獲得を大いに期待するところです。

少し明るい話題にも触れてみたいと存じます。昨年末、老朽化していた血管造影装置の入れ替えを行いました。医療者の被曝が軽減され鮮明な画像を得る事ができ、様々な血管内手術に対応が可能です。血管疾患をお持ちの患者さんには大きな福音と言えます。また当院は地域がん診療病院の認定を受けておりますが、呼吸器・乳腺領域のがん治療における地域での自己完結率を向上させるため、新年度に呼吸器・乳腺外科を新設し、新たに教授職を配置する予定です。地域の先生方には患者さんの一層のご紹介をお願い申し上げます。

今年も引き続き新型コロナウイルスとの戦いが続くと思いますが、職員一丸となって当院の理念である“あたたかい医療”を提供して参りたいと存じます。

## 脳卒中治療にフォーカスした血管撮影装置 ARTIS icono D-Spin が 福岡大学筑紫病院で稼働開始しました

2020年11月から稼働した新しい血管撮影装置、シーメンス社 ARTIS icono D-spin のご紹介をします。この装置は2019年9月19日に薬事承認となったばかりの最新鋭機種です。この装置はわが国で5台目となり、シーメンス社の血管撮影装置の集大成であり未来への新たな出発点です。

副院長 脳神経外科・脳卒中センター 教授 東 登志夫

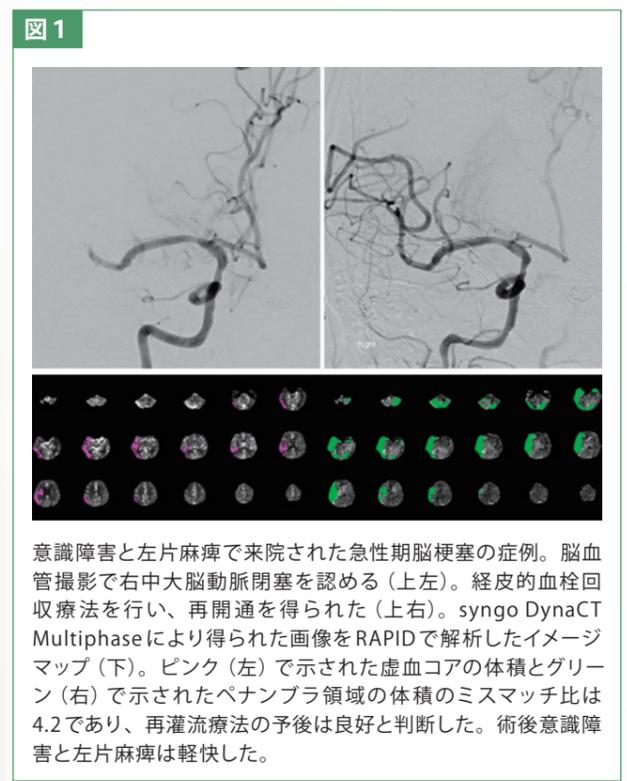
### 脳卒中にフォーカスした新しいコンセプトの集約医療機器 —ワンストップ脳卒中マネジメント—

ARTIS icono は透視や血管撮影を行うだけではありません。フラットパネルディテクターを搭載した2方向のアームに大きな技術革新がなされています。アーチファクトを低減した高精度なCTライクイメージの撮像や急性期の脳血行動態の評価が可能となりました。この結果、従来の標準

的なワークフローであったCTやMRIを省略し、血管撮影装置だけで診断・治療を行うことで時間短縮を図り、予後の向上を期待することができます。今後、ARTIS icono によりワンストップ脳卒中マネジメントが実現すれば、患者さんに大きな恩恵をもたらすでしょう。

### 次世代ソフトウェアRAPIDと連動した脳灌流画像解析システム

2019年12月1日、治療体制の整備などを目的に、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（脳卒中・循環器病対策基本法）」が成立しました。一方で新たな治療用デバイスの開発により、脳卒中の治療は大きく進歩しています。「脳卒中ガイドライン2015 [追補2019]」では、血栓回収療法の適応が拡大し、従来の発症後6~8時間以内から最終健康確認後24時間以内へと改訂されました。これには、治療を行うことで予後良好となる患者さんを選択することが必須となります。ARTIS icono に搭載された syngo DynaCT Multiphase では、従来のCTライクイメージによる3Dファンクショナルイメージに時間軸情報が追加されました。計10回の回転撮影を高速に行うことにより、8ポイントの機能画像を得ることが可能です。さらにこの画像は自動的に米国 iSchemaView 社の RAPID システム（スタンフォード大学で開発された画像解析ソフトウェア）に転送され、虚血性コアとその周囲の還流異常領域（ペナンプラ）の体積を計算、そのミスマッチを瞬時に計測しマップ表示します。このミスマッチを評価することで、従来の治療時間枠を超えた患者さんに対して安全に再開通治療を行うことが可能となります（図1）。



## syngo DynaCT Sine Spin, Twin SpinやOPTIQによる新しい治療戦略

ARTIS iconoのCTライクイメージングでは、頭尾方向に10°の傾斜をかけるアームの二重軌道回転機構で撮影を行い（sine spin）、多方向からデータを取得します。従来の装置でみられた画像アーチファクトを大幅に低減し、骨構造周囲の病変も明瞭に描出可能です。また高速・広範囲回転が可能な側面アームを搭載し、側面アームが正面アームの動きに追従することが可能です（twin spin）。バイプレーンセッティングのまま3D撮影が可能となり治療時間を短縮できるため、ワークフローが大きく変わりました。新機構のOPTIQシステムでは、X線発生装置とイメージングシステムの画像処理エンジンパラメーターをコントロールし、患者さんの体格に応じて装置が自動的に線量を制御します。このため無駄な被ばくを抑え、安定して高画質なデータを得ることができます。2020年11月から実際にこの装置を使用しています。画像のクオリティやアプリケーションの使いやすさは従来の装置とは別次元であり、大きな安心感のもとで治療や検査を行うことができます（図2）。



未破裂脳動脈瘤（左中大脳動脈分岐部瘤）の症例。最新の分岐部動脈瘤用治療機器PulseRider（セレノバス社）を使用しコイル塞栓術を行った。治療前（左上）、PulseRiderの3Dイメージ（上中）、治療後（右上）。治療支援アプリケーションによって動脈瘤のサイズや体積を解析できる（左下）。実際の治療の様子（右下）。

### 患者さんにやさしい、脳のカテーテル治療に特化した血管撮影室

脳血管撮影室は、私たち脳神経外科・脳卒中センターのコアとなる治療ファシリティです。検査室に入室される患者さんの多くは精神的緊張をとまっています。これから検査や治療を行うわけですから、ご心配なお気持ちも十分納得できます。新しい血管撮影室では、入室した患者さんがリラックスできるように、床および壁面の一部を木目調のデザインにしました。今後、右奥の壁面には優しい絵画デザインを掲示予定です（図3）。新たな生体情報モニタリングシステムを設置し、操作室、麻酔科医局および手術部スタッフステーションへ室内映像とともに配信しています。同様に2カ所のカメラによる室内映像および16チャンネルのスイッチャーを介した検査画像がすべて、脳卒中センター病棟および医局に配信されており、より多くの医療者の視点で検査や治療中の安全を確認しています。メディカルスタッフの被ばく低減に配慮した導線、麻酔器の位置を想定したパイピング、モニターの視認性を妨げない照明のレイアウト、感染症を考慮した室内の換気ルート等、これまでの経験をすべてつぎ込んでデザインを行いました。シーメンス社にはかなり高い要求を提示しましたが、当院のneuro-angio suiteがわが国のモデルケースとなるべく、多大なご協力をいただきました。

日本人の主な死亡要因の1つである脳卒中は患者数110万人以上で年間11万人（2017年 - 厚生労働省統計）が死亡しています。また、寝たきり（要介護5）になる最大の原因で、全体の約3割を占めており、医療・介護費用の増加も社会的問題になっています。脳卒中の治療は時

間勝負です。限られた時間の中で正確な診断、そして適切な治療を行うことが必要です。福岡大学筑紫病院は、日本脳卒中学会による一次脳卒中センター（Primary Stroke Center, PSC）の認定を受けています。さらに機械的血栓回収療法を常時（24H/7D）実施している「地域においてコアとなるPSC施設（PSCコア施設）」としての活動を行っています。今後は2台のバイプレーン血管撮影装置の稼働によって、脳血管疾患、循環器疾患や消化器疾患の救急医療に、よりフレキシブルに対応することができます。私たちはARTIS iconoに搭載されたソリューションで、新たな可能性を提供したいと考えています。



新しく設置されたシーメンス社のARTIS icono（血管撮影装置）。室内は患者さんがリラックスできるように、床と壁面の一部を木目デザインとしている。